

平成21年 3月2日	農作物病虫害発生予報 3月	山口県病虫害防除所 山口県農林総合技術センター
---------------	--------------------------------	----------------------------

～目 次～	
I 予報の概要	1
II 予報	
【主要病虫害】	2
【その他の病虫害】	5
III 参考(予報の見方、気象予報、3月のテレホンサービスの内容)	6

I 予報の概要

農作物名	病虫害名	予想発生量	現 況	
			平年比	前年比
カンキツ	かいよう病	やや少	やや少	少
タマネギ	白色疫病	多	多	前年並
	べと病	やや多	やや多	多
イチゴ	灰色かび病	多	多	多
	うどんこ病	やや多	やや多	前年並
	アブラムシ類	平年並	平年並	多
	ハダニ類	やや多	やや多	多

作物	担当者
普通作	藤村(病害) 中川(虫害)
果 樹	村本(病害) 殿河内(虫害)
野 菜	岡田(病害) 溝部 (虫害)

お問い合わせ先	
TEL	(083) 927-4006
FAX	(083) 927-4071

II 予報

【主要病害虫】

カンキツ

1 かいよう病

(1) 予報内容

予想発生量	現況		防除時期
	平年比	前年比	
やや少	やや少	少	発芽前（3月）

(2) 予報の根拠

ア 2月中旬の越冬病斑調査では、発生ほ場率13.6%（平年25.5%）、発病葉率1.3%（平年2.5%）で平年に比べやや少なかった（-）。

イ 気象予報では3月の気温は高く、降水量は多い（+）。

(3) 防除対策

<耕種的防除>

ア 病斑のある葉や枝の剪除を徹底する。

イ 防風樹や防風ネットを整備し、強風による枝や葉の付傷を防ぐ。

<防除のポイント>

かいよう病にかかりやすい品種（アマナツ、イヨカン等）や越冬病斑が認められる園では、発芽前に無機銅剤（ICボルドー66D、コサイドボルドー、Zボルドー等）を必ず散布する。なお、マシン油乳剤を散布した園でICボルドー66Dを使用する場合は2週間程度、コサイドボルドーやZボルドーの場合には1週間程度の間隔をおいて散布する。

タマネギ

1 白色疫病

(1) 予報内容

予想発生量	現況		防除時期
	平年比	前年比	
多	多	前年並	発病初期

(2) 予報の根拠

ア 2月下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1%（平年1.9%）、発病株率3.5%（平年0.1%）で平年に比べ多く、一部で甚発生ほ場が認められた（+）。

イ 気象予報では、3月の降水量は平年に比べ多い（+）。

(3) 防除対策

<耕種的防除等>

ア 水媒伝染するため、ほ場の排水を良好にする。

イ 連作ほ場で発生が多くなる傾向があるため、他作物と輪作する。

2 ベと病

(1) 予報内容

予想発生量	現 況		防除時期
	平年比	前年比	
やや多	やや多	多	二次感染株発生初期 (平年初発生日：3月25日)

(2) 予報の根拠

ア 2月下旬の巡回調査では、越年罹病株の発生ほ場率0%(平年0.5%)、発病株率0%(平年0.01%)、1a調査では発病株数0.1株(平年0.1株)で平年に比べやや多かった(+).

イ 初発生は1月14日(平年2月17日)に山口市大内の県予察ほ場で認められ平年に比べ早かった(+).

ウ 気象予報では、3月の気温は平年に比べ高く、降水量は多い(+).

(3) 防除対策

<耕種的防除等>

越年り病株が10aあたり3株以上確認されるほ場では発生が多くなるので、越年り病株の早期発見、抜き取り処分を徹底する。

<防除のポイント>

二次感染株が確認された場合は、防除効果の高い薬剤(リドミルMZ剤、リドミル銅剤、フォリオブラボ剤、カーゼートPZ剤、ホライズン剤等)により直ちに防除を行う。なお、フェニルアマイド系薬剤(リドミル剤、フォリオブラボ剤)は耐性菌出現防止対策として作付期間中1回程度の使用にとどめる。

イチゴ

1 灰色かび病

(1) 予報内容

予想発生量	現 況		防除時期
	平年比	前年比	
多	多	多	発病初期

(2) 予報の根拠

ア 2月下旬の巡回調査では、発生ほ場率35.0%(平年10.0%)、発病果率0.2%(平年0.1%)で平年に比べ多かった(+).

イ 気象予報では、3月の降水量は平年に比べ多い(+).

(3) 防除対策

<耕種的防除等>

被害果や被害茎葉は伝染源となるので、施設外に持ち出し処分する。

<防除のポイント>

ア ジカルボキシイミド系薬剤（スミレックス剤、ロブラール剤）は県内の一部で、ポリオキシシン剤は広範囲で耐性菌が出現しているため、使用後は必ず防除効果を確認し、防除効果が劣る場合は使用を控える。

イ 耐性菌の出現を避けるため、同一薬剤の連用並びに同一系統の薬剤間での輪用は避ける。

2 うどんこ病

(1) 予報内容

予想発生量	現 況		防除時期
	平年比	前年比	
やや多	やや多	前年並	発病前または発病初期

(2) 予報の根拠

ア 2月下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0%（平年24.0%）、発病株率6.4%（平年2.1%）で平年に比べやや多かった（+）。

イ 気象予報では、3月の気温は平年に比べ高く、降水量は多い（+）。

(3) 防除対策

<耕種的防除等>

被害果や被害茎葉は伝染源となるので、施設外に持ち出し処分する。

<防除のポイント>

ア 発病前の予防または、発病初期の防除を徹底する。

イ 発生した場合、発病した葉を除去した後、薬剤防除を実施する。

ウ 耐性菌の出現を避けるため、同一薬剤の連用並びに同一系統の薬剤間での輪用は避ける。薬剤散布後は、必ず防除効果を確認し、防除効果が劣る場合は、異なる系統の薬剤で再度防除を実施する。

3 アブラムシ類

(1) 予報内容

予想発生量	現 況		防除時期
	平年比	前年比	
平年並	平年並	多	—

(2) 予報の根拠

2月下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0%（平年19.2%）、寄生株率2.6%（平年3.7%）で平年並みであった（±）。

(3) 防除対策

<耕種的防除等>

局所的に発生することが多いので、下葉の葉かきをこまめに行う一方、ほ場をよく観察して早期発見に努める。

<防除のポイント>

ア 薬剤散布を行う場合は、ミツバチに影響の少ない薬剤を使用する。ミツバチの巣箱を施設外に出して薬剤散布を行う場合は、薬剤の影響が無くなってから巣箱を施設内に戻すようにする。

イ 発生が局所的である場合は部分散布を行う。また、薬剤は葉裏まで十分かかるように丁寧に散布する。

4 ハダニ類

(1) 予報内容

予想発生量	現 況		防除時期
	平年比	前年比	
やや多	やや多	多	—

(2) 予報の根拠

2月下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.0%（平年36.0%）、寄生株率16.8%（平年13.4%）で平年に比べやや多かった（+）。

(3) 防除対策

<耕種的防除等>

局所的に発生することが多く、多発後の防除は困難なので、下葉の葉かきをこまめに行う一方、ほ場をよく観察して早期発見に努める。

<防除のポイント>

ア 肉眼での発見が困難なナミハダニ(黄緑型)が発生している場合が多いので、拡大鏡などで観察するか、葉裏に白紙を擦り付けてハダニが潰れた薄緑の跡の有無を確認する。

イ その他については、アブラムシ類の<防除のポイント>を参照する。

【その他の病害虫】

作物名	病害虫名	予 想 発 生 量	現 況		発生ほ場率		備 考
			平年比	前年比	本年 (%)	平年 (%)	
イチゴ	菌核病	やや多	やや多	多	5.0	0.5	発病茎葉、発病果は除去する。
	萎黄病	平年並	平年並	少	0	1.5	発病株は抜き取り、ほ場外に持ち出して処分する
	ハスモンヨトウ	平年並	平年並	前年並	0	0	
	オンシツコナジラミ	平年並	平年並	やや少	15.0	24.0	

Ⅲ 参考

1 予報の見方

(1) 病害虫発生量の基準（原則として過去10年間の発生量と比較）

ア 平年比

多	過去10年間で最も多かった年と同程度以上の発生
少	〃 で最も少なかった年と同程度以下の発生
やや多	〃 で2～3番目に多かった年と同程度の発生
やや少	〃 で2～3番目に少なかった年と同程度の発生
平年並	〃 で標準的にみられた発生（上記4項目を除くもの）

（注：過去の発生量との比較を表わすもので、被害や防除の必要性とは異なる）

イ 前年比

多	平年比の5段階評価で区分し、前年の評価より多い発生
少	〃 前年の評価より少ない発生
前年並	〃 前年の評価と同等の発生（上記2項目を除くもの）

(2) 予報根拠における発生要因の評価基準

+	発生を助長する要因
±	発生の助長及び抑制に影響の少ない要因
-	発生を抑制する要因

2 気象予報

(1) 概要

1か月気象予報（2月27日福岡管区気象台発表）

予 報	低 い (%) 少 ない	平年並 (%)	高 い (%) 多 い
気 温	1 0	2 0	7 0
降 水 量	2 0	4 0	4 0
日照時間	4 0	4 0	2 0

週ごとの気温傾向

予 報	低 い (%)	平年並 (%)	高 い (%)
1 週 目	1 0	4 0	5 0
2 週 目	1 0	2 0	7 0
3～4 週 目	2 0	3 0	5 0

3 3月のテレホンサービスの内容（予定）TEL(083)927-4649

時期	内 容
上旬	3月の発生予報、ナシ黒斑病の防除、イチゴ病害虫の防除、タマネギ病害の発生状況と防除
下旬	タマネギ病害の発生状況と防除、カンキツかいよう病の防除、トマト黄化葉巻病・黄化えそ病対策